取扱説明書

使用する前に必ずお読み下さい。
この取扱説明書を大切に保管してください。

ラッシュブースタ

HIROTAKA MFG. CO.,LTD.

⚠ 取扱い上の注意事項

⚠ 注意

1.　配管
配管前にはフラッシングを行い、管内に異物が入らないよう注意してください。配管材は使用条件に十分耐え得るものを選定、ご使用ください。ご使用前には油圧配管系統の空気抜きを行ってください。

2.　給気
乾燥した圧縮空気を、空気圧フィルタを通してご使用下さい。

3.　作動油（ISO　VG22　又はVG32　油圧作動油　相当品）
作動油にドレン、異物が混入したり、劣化、変色したものは新しい作動油と交換してください。又、作動油は新旧同じものをご使用下さい。

4.　作動油量
オイルゲージの側面にオイルレベルがありますから、使用中の作動油がオイルレベルの範囲内になるよう作動油を充填してください。

5.　設置方向
標準的な設置は水平方向となります。設置スペース等の都合により下向き及び上向きに設置する場合にも必ずオイルゲージは赤色キャップが上向きとなるよう取り付けてください。

6.　ラッシュブースタの戻りスピード調整
ラッシュブースタの戻りスピードはラッシュブースタで動作させるアクチュエータの戻りスピードよりも遅くなるようスピードコントローラ等で調整願います。油圧配管系の油圧が負圧となり気泡としてオイルゲージから漏れ出たり、オイル漏れ、加圧不良等を防ぐためです。また、加圧側よりも戻り側の速度を遅く調整してください。

7.　エア抜き作業
エア抜き作業時にはエア圧力を0.2MPa程に下げてブースタを作動させてください。また、アクチュエータ側にエア抜き用プラグが設置してある場合にはエア抜きプラグを緩め過ぎないようにしてください。油が噴出したり、プラグが飛んだりする場合があります。オイルゲージキャップ部にエアを供給する方法もあります。（P3 参照）

作　動　油 ………… 耐摩耗性油圧作動油 （VG22　又は VG32）
昭和シェル：テラスオイル、JX日鉱日石：スーパーハイランド、モービル：DTE、他

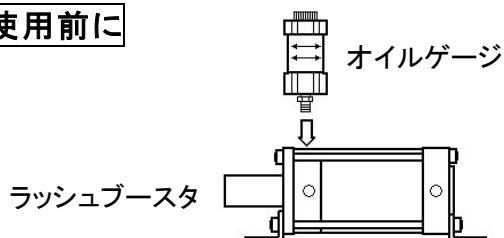
使用空気圧 ………… 0.15MPa～0.7MPa

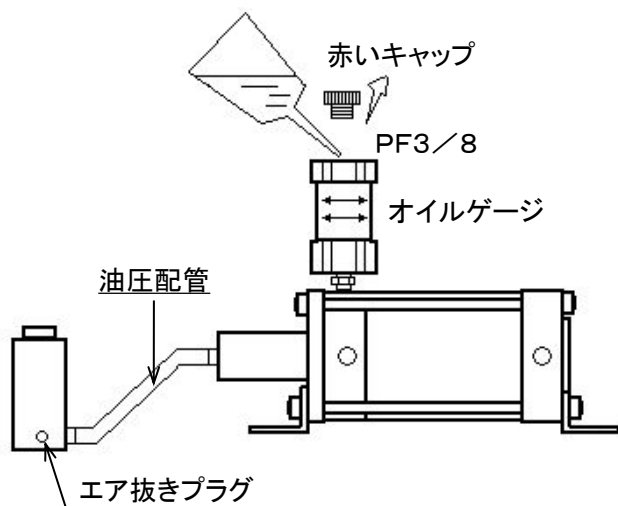
必 要 油 量 ………… 吐出油量　＋　約 100cc　　（但し、油圧配管、アクチュエータ内の油量は除く）

例　：　RB-160×100－65
（100 → 吐出油量）

100cc＋100cc　＝　200cc

上記 RB-160×100－65 の必要油量は約 200cc です。

ご使用前に

ラッシュブースタをご使用する前に、付属のオイルゲージを図の位置にねじ込んで下さい。

油の入れ方、エア抜き方法

機器の設置、油圧配管、空気配管が完了した後にラッシュブースタ、アクチュエータ共に戻り側とし、オイルゲージのキャップを外して給油を行って下さい。
図のように油圧配管、アクチュエータの配管口がラッシュブースタよりも下方に位置する場合、アクチュエータ側にエア抜きプラグがある場合はプラグを緩めます。エア抜きプラグが無い場合はラッシュブースタを往復作動させながらオイルゲージ内のオイルを継ぎ足しながら空気が完全に抜けるまで作動させます。
油圧配管、アクチュエータの配管口がラッシュブースタよりも上方に位置する場合はオイルゲージ上部のPF3/8ネジを利用し、オイルゲージ内に低空気圧(0.05～0.15MPa)を供給し、アクチュエータ側のエア抜きプラグを緩め空気を抜きます。オイルゲージ内のオイルが減りますので都度補給をしながらエア抜きを行ってください。
エア抜き終了後、オイルレベル範囲内に給油します。
空気が抜けると油圧圧力とアクチュエータのストローク共に十分発揮するようになります。

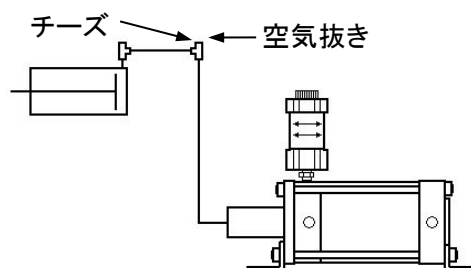
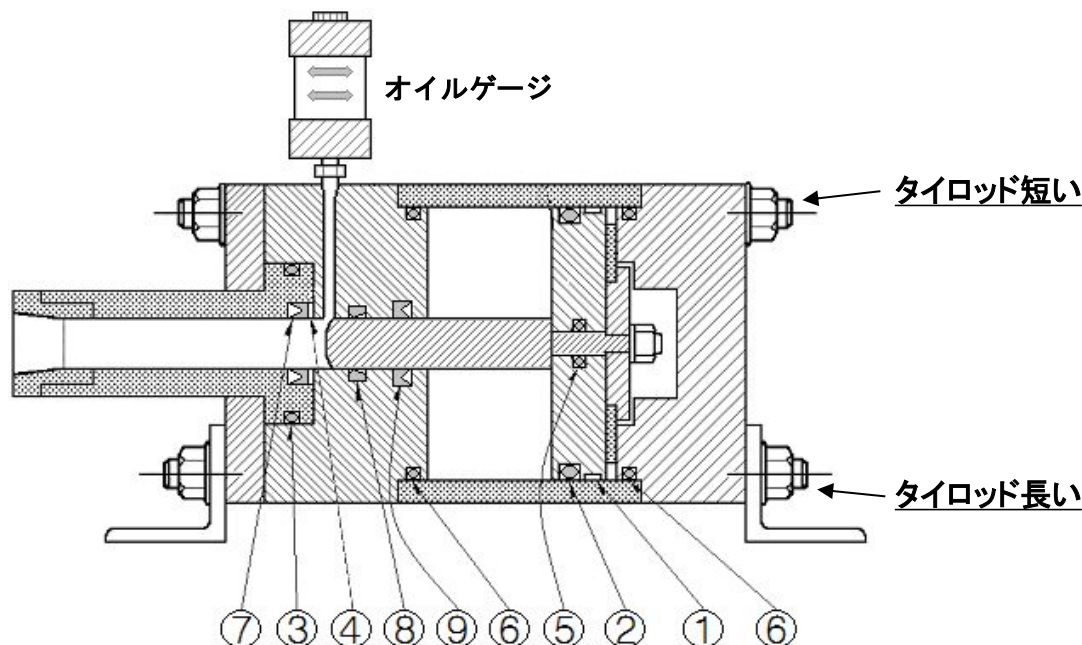
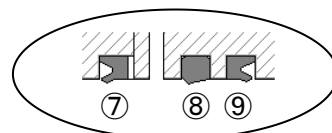
配管方法のご注意

ご使用中に油圧配管及び油圧アクチュエータ内のオイルに空気が混入し場合に適正な油圧、動作ができなくなることがあります。空気抜きを考慮した油圧配管を実施願います。

標　準　ラッシュブースタが油圧アクチュエータより上方にある場合

ラッシュブースタが油圧アクチュエータより下方にある場合

配管途中の高い位置に空気抜きを作ってください。

ラッシュブースタと油圧アクチュエータの間に傷害物がある場合

配管途中の高い位置に空気抜きを作ってください。

注：⑦⑧⑨のパッキンは装着方向を間違えないように組付け願います。
４本のタイロッドを外し、分解してください。

型式 ＼ 品番 品名	1 ｳｪｱﾘﾝｸﾞ	2 ﾋﾟｽﾄﾝ ﾊﾟｯｷﾝ	3 Oﾘﾝｸﾞ	4 ﾊﾞｯｸｱｯﾌﾟ ﾘﾝｸﾞ	5 Oﾘﾝｸﾞ	6 Oﾘﾝｸﾞ	7 Yﾊﾟｯｷﾝ	8 ﾛｯﾄﾞ ｼｰﾙ	9 ﾛｯﾄﾞ ｼｰﾙ
RB100×□－ 5	SWB-100	PSD-100	G-65		P-14	G-95	ISI 45,55,6	PS-45	ISI 45,55,6
RB100×□－12	SWB-100	PSD-100	G-50		P-14	G-95	IDI 28,41,10	PS-28	ISI 28,35.5,5
RB160×□－ 5		P-150	G-90		P-28	1517#36	ISI 70,80,6	ISI 70,80,6	ISI 70,80,6
RB160×□－16	SWB-160	P-150	G-75		P-14	1517#36	IDI 40,55,10	PS-40	ISI 40,50,6
RB160×□－28	SWB-160	P-150	G-55		P-14	1517#36	IDI 30,45,10	PS-30	ISI 30,40,6
RB160×□－65	SWB-160	P-150	G-55 P-42	GN911001 	P-14	1517#36	IDI 20,33,10	PS-20	ISI 20,28,5
RB160×□-100		P-150	P-42	GN910501	P-12	1517#36	IDI 16,26,8	PS-16	IDI 16,24,5
個　　数	1	1	1	1	1	2	1	1	1

※RB160×□-65 の品番 3、4 は上段が新、下段が旧。
交換の際は現品と同じパッキンで交換ください。
交換用パッキンセットには双方が同梱されています。

型式表示例　　RB 100×□－12

- RB：ラッシュブースタ
- 100：チューブ内径
- □：吐出油量
- 12：増圧比

ヒロタカ精機株式会社
本社・工場　〒462-0832 愛知県名古屋市北区生駒町5-89
TEL(052)991-6111　FAX(052)991-6115
東京営業所　〒124-0024 東京都葛飾区新小岩1-56-14(キャッスル新小岩207)
TEL(03)3651-4230　FAX(03)3651-4231
http://www.hirotaka.co.jp/

2015a1